

# 平成 30 年度東浦町若者会議

## 第 2 回開催記録

### 1 開催概要

若者の発想やアイデアを実際のまちづくりに生かすこと、若者に「まちづくり」に興味を持ってもらうきっかけづくりとすることを目的として、平成 30 年度東浦町若者会議を開催します。グループに分かれ、東浦町の課題等に対する事業を検討します。

第2回では、課題に対するアイデア出しを行いました。

- 日 時：平成 30 年 8 月 4 日（土） 午後 1 時 30 分から午後 4 時まで
- 場 所：東浦町文化センター 視聴覚室
- 参加人数：20 人
- 内 容：
  - 1 開会（あいさつ、本日の予定について）
  - 2 前回の振り返り
  - 3 グループワークのルール説明、役割分担
  - 4 模擬グループワーク
  - 5 グループワーク
    - 「課題に対する事業を考えよう（アイデア出し）」
    - ①現状把握、目的の書き出し
    - ②目的の選定
    - ③アイデア出し
    - ④発表
  - 6 閉会

## 2 開催の様子



### 3 あいさつ、本日の予定について

#### <町長あいさつ>

普段なかなか若者と接する機会がないため、若者と関わる良い機会だと思っている。

行政（役場）は、みんなで協力してやったほうが良い仕事をするところであり、個人でできること、地域でできることはそれぞれで行うべきである。この仕組み・役割分担を知ってもらいたい。そして、まちに関心を持ってもらいたい。

行政だけでは良いアイデアが出ないため、若者から新しいアイデアをもらいたい。

#### <本日の予定>

前回、グループごとに取り組む課題を決定しました。

今回は、選んだ課題に対する事業のアイデアを出していきます。

グループワークに入る前に、グループワークを円滑に進めるためのルールやポイントを確認し、司会役、意見整理・書記役、発表役の役割を決めました。

### 4 模擬グループワーク

グループワークの進め方を練習してもらうため、模擬グループワークを行いました。「東浦ぶどうを町外の人へ PR する」という課題を提示し、ワークシートに沿って練習しました。

取組課題「東浦ぶどうを町外の人へ PR する」



困っていることと目標の整理



現在の取組などの把握



現在の取組には、どんな目的があるか



目標達成のために注目する目的を絞る



選んだ目的を持つ取組のアイデアを出していく

## 5 グループワーク

グループごとに、取組課題に対する事業のアイデア出しを行いました。

グループ名 : 半分、白い

### ●取組課題

「自分たちのできることから」

### ●困っていること、目標

(困っていること)

情報を知らない

(目標)

東浦町と若者の関わりを増やす

### ●現在の取組

情報発信



役場が管理している

苦情まとめ、観光、ちょボラ、スポット発信、うららバス

### ●どんな目的があるか

情報を知ってもらう

### ●注目する目的

情報を伝える、知ってもらう

### ●事業アイデア

- ・タグ付けをまとめる

いろいろな人も関われる

- ・Twitter、LINE アカウントを作る

防災、イベント、名産品、マップ、日常の情報を発信(トレンド1位を目指す!)



どうやって情報を知るか

イベントを友達から聞いて広める

タウンウォーキング



グループ名 : ぶどう

●取り組みたい課題

「若者の防災意識向上」

●困っていること、目標

(困っていること)

若者に防災の関心がないこと

(目標)

防災に関心を持ってもらいたい

●現在の取組

・台風、地震などの災害対応（災害対策本部）

・備蓄品（毛布、食料など）



アルファ米、飲料水など1日2食で3日分

消費期限が近くなったら、防災訓練などで配布

・消防団

定員 221 人、在籍 221 人

6分団ある。1分団に 35 人。本団は 11 人。

災害が起きた時の対応、各地区の防災訓練の指導をしている

操法大会、出初め式、観閲式

・自主防災会

16 地区。地区ごとに自分たちで防災訓練。

住民全員どこかの地区に所属している。

・防災訓練 8～10 月に実施

・情報は広報やホームページに記載

●どんな目的があるか

・住民の命を守る

・被害の軽減

・住民に伝える

・災害時に対応する

・住民たちで助け合いをする

・少しでも知識を増やす

・自助、共助、公助



●注目する目的

どうやって防災の情報を住民に伝えるか（手段）

●事業アイデア

- 東浦町がおもしろい防災グッズなどのパンフレットを作って、学校などで配る。
- イベントの中で、防災コーナーを作る
- 運動会の種目に防災関係のものを入れる → 景品も
- うんこドリルのようにおもしろく情報を伝える（気を引く）  
うんこハザードマップ（仮）
- 防災訓練に行きたくなるような内容を詳しく伝える  
→はしごにのぼる、アスレチック



グループ名 : カントリーマアム

●取り組みたい課題

「自然環境学習の森における保全活動の充実」

●困っていること、目標

(困っていること)

活動者の高齢化、知らない人が多い、保全活動が進まない

(目標)

知名度を上げて人を増やし、保全活動の充実につなげる

●現在の取組

- ・保全・育成の会が保全活動を行っている

平均年齢 70 歳以上

水辺部会、竹林部会、竹灯籠の会、フォレスター、生きものの会

- ・体験

田植えや稲刈り

竹炭づくり

タケノコ掘り

竹灯籠

野鳥観察会

●どんな目的があるか

- ・生き物を守る
- ・竹を切る
- ・草地化を防ぐ
- ・宣伝をする
- ・人を増やす
- ・PR する

●注目する目的

PR、宣伝をする





●事業アイデア

- BBQ をする
- つりをする → その後食べたりできる
- 竹の工作をする
- お金のもらえる活動をする
- イベントをする…子ども向け、家族向け
- 流しそうめんをする
- 室内でできるイベントをする
- 外来種などを調理して食べる
- フォトコンテスト
- 夏祭り
- サバイバルゲーム
- アスレチック
- ツリーハウス

